

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 用地課												
	作成責任者	西畑 信寿												
	事業名	災害対策用機械緊急出動事業												
	会計情報	款	消防費	項	消防費	目	災害対策費	会計	一般会計	事業コード	550119	決算付属資料	212	頁
	施策体系	施策コード	040103	施策名	市街地の浸水対策を推進する									
	開始年度	平成27年度												
	終了予定年度	令和2年度												
	関連計画等	-												
	根拠法令等	-												
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )												

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	大雨等により甚大な浸水被害が発生、又は浸水被害の発生が予測されるときに、国土交通省所有の等災害対策用機械(排水ポンプ車)の排水ポンプ車を運用するための出動要請を行い、排水ポンプ車により内水を排水することで、住家並びに主要幹線道路等の浸水被害の低減を図り市民の安心安全に寄与する。									
	対象者	全市民	対象者数	78,000	単位あたりコスト	0.1					
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )									
	委託先・実施主体等	災害対策用機械作業受託業者									
	事業概要	国土交通省が所有する災害対策機械(主に排水ポンプ車)に出動要請をし、排水ポンプ車を活用することにより内水を排水することで、住家ならびに主要幹線道路等の浸水被害の低減を図る。									
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容							H30経費	
	需用費	ライフジャケット購入費、排水ポンプ車燃料費							166		
	委託料	排水ポンプ車運転管理業務委託料							2,217		
関連事業	排水ポンプ車購入事業										

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	489	507	506	3,540	3,563
		②補正予算	0	0	0		
		③流充用額	0	0	1,877		
		④繰越額計	0	0	0	0	0
	前年度繰越			0	0	0	0
		次年度繰越		0	0	0	0
	財源内訳 (①④⑤内訳)	一般財源	489	507	2,383	3,540	3,563
		国支出金	0	0	0	0	0
		府支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他特財	0	0	0	0	0
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
		特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	人件費	0.05/0	0.1 / 0	0.3 / 0	0.3 / 0		
⑤概算人件費	400	800	2,400	2,400			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	889	1,307	4,783	5,940			
⑦執行額	0	0	2,383	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		前進配置の排水ポンプ車が出動した出水における浸水被害発生回数	回	0/0	0/0	0/1	/ 0	0
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		前進配置の排水ポンプ車出動回数	回	0/0	0/0	1/0	/ 0	0
		単位あたりコスト		0.0	0.0	1191.5		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

	項目	評価	評価に対する説明		
一次評価（担当課による自己評価）	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	由良川堤防整備が進むにつれて、内水対策が課題となってくる中で、排水ポンプ車への関心は非常に高いものがあり、治水効果を高めるためにも必要不可欠である。	
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○		
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○		
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○		排水ポンプ車等の災害対策用機械は国が所有しており機械操作は民間委託されているため、非常に低コストで事業が実施できる。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○		
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○		
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○		災害対策用機械を要請するのは大規模洪水発生時となるため、排水ポンプ車による能力で全ての内水を排水することは困難な状態である。排水ポンプ車の出動要請（回数）による作業により、一定の浸水被害低減が成されたものとする。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○		
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○		
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<p>29年度 台風21号災害の際に出動要請をかけたが、直轄河川に起因する被害に伴うものであったため、国交省判断での排水ポンプ車出動であり、費用の負担は無かった。</p> <p>30年度 7月豪雨は29年と同様国交省判断での出動であったため成果実績には反映しない。その豪雨を受け国交省所有の排水ポンプ車2台を市に前進配置として貸与いただけることになり、市の直轄となった。加えて1台市で購入した排水ポンプ車が追加され、直轄台数は3台となった。</p> <p>稼働実績 2回の台風の際に出動したが排水活動を行ったのは台風24号時。2台を河守地区、1台を尾藤地区に出動させたが両地区において浸水家屋の発生はなかった。</p> <p>※30年度に市が購入した排水ポンプ車は、令和元年度から排水ポンプ車運転管理事業において管理・出動させることとなったため、当該事業に由良川改修の築堤等整備が進捗するに伴い、内水対策が必要になってくると想定される中で、より効果的な排水ポンプ車の配備が求められることから、福知山市に限らず広域的な配備についての検討・調整が必要となってくる。</p> <p>併せて、洪水時の排水ポンプ車に動員する職員の確保、車両の確保等、課題がある。</p>			
今後の課題及び方向性					

	所見
二次評価（庁内評価） 【行革担当課記入】	
三次評価（外部評価） 【行革担当課記入】	

	方針区分	内容
来年度方針	<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input checked="" type="checkbox"/> 事業の見直しなし	国土交通省が所有する排水ポンプ車の前進配置を引き続きお願いし、市が購入した排水ポンプ車と合わせて、豪雨発生時等に浸水被害の軽減を図るため、引き続き事業を実施する。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額への反映状況（対H31） <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	荒木 正人						
	事業名	調節池整備事業						
	会計情報	款 土木費	項 河川費	目 河川総務費	会計 一般会計	事業コード 550401	決算付属資料 194	頁
	施策体系	施策コード 040103	施策名 市街地の浸水対策を推進する					
	開始年度	平成27年度						
	終了予定年度	令和2年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的事业 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨による内水被害対策として、国・府・市3者での「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での指針に基づいて、必要な整備を行なっていく。整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、由良川流域住民はもとより市民の安心・安全に寄与することができる。					
	対象者	市民、特に法川、弘法川流域住民	対象者数	18,558	単位あたりコスト	16.2	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input checked="" type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )					
	委託先・実施主体等	測量設計業者、土木工事施工業者等					
	事業概要	道路河川課においては、法川及び弘法川上流において、調節池・調整池を整備することで、流量調節による治水対策を実施し、弘法川、法川流域住民さらには全市民の安心・安全を図るものである。法川及び弘法川の上流域における調節池などの適地を検討し、新設する西川調節池、既存のため池である桃池、草池の整備にかかる測量・設計、地質調査など実施していく。					
	主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容	H30経費			
	工事請負費	桃池調整池(29線30)	151,478				
	用地費	(用地課 現年 72,265、29線30 55,993)	128,258				
	委託料	測量・設計業務等(現年 用地課 5,368、文スポ 887、29線30 道河1,568)	7,823				
	補償金	物件移転補償(用地課、29線30)	1,779				
	その他	需用費(文スポ 31)、役務費(現年 文スポ7、29線30 用地課 74)他	305				
関連事業							

予算と執行の状況	区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
	配当予算	①当初	90,000	325,000	549,268	707,000	0
		②補正予算	10,000	71,864	18,000		
		③流充用額			0		
		④繰越額計	△ 73,616	△ 118,952	△ 273,082	488,516	0
	前年度繰越			96,482	215,434	488,516	
		次年度繰越		△ 215,434	△ 488,516		
	財源内訳 (①④⑥内訳)	一般財源	26,384	21,148	21,186	28,916	0
		国支出金	0	30,464	50,300	329,700	
		府支出金	0	0	0		
		地方債	0	226,300	222,700	791,000	
		その他特財	0	0	0	45,900	
	主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称 社会資本整備総合交付金	種類 国支出金	実績金額 50,300	決算付属資料 18	頁	
		特財名称 旧合併特例	種類 市債	実績金額 130,100	決算付属資料 48	頁	
	人件費	0.40/0	0.4 / 0	0.87 / 0	0.87 / 0		
⑤概算人件費	3,200	3,200	6,960	6,960			
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	29,584	281,112	301,146	1,202,476			
⑦執行額	18,828	276,309	289,643				
執行率 (⑦/⑥)×100	71.4%	99.4%	98.5%	0.0%			

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		調節池・調整池	池	0/4	0/4	0/4	/ 3	4
				/	/	/	/	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		事業件数	本	2/2	4/4	6/6	/ 4	4
		単位あたりコスト		9,414.0	69,077.3	48,273.8		
			/	/	/	/		
			単位あたりコスト					

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・国・府・市3者による治水対策協議会で示された方針に基づいて、内水被害対策のひとつとして進めており、治水対策上、必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・定められた整備目標に従って進めていく必要があり、国の交付金など財源を活用して事業進捗を図っていく。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・内水被害対策については、整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで市民の安心・安全に寄与することができ、事業として有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
	目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業は、平成26年8月豪雨による内水被害対策のひとつとして、国・府・市3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での方針に基づき進められている。</li> <li>・整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、市民の安心・安全に寄与することができる。【定性的評価】</li> </ul>		
今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・府・市3者による治水対策協議会での方針に基づいて、計画的に進めていく必要があり、本市にかかる予算の確保と、国の交付金等、財源確保が重要となってくる。</li> <li>・また法川流域での調節池整備にあたり、今後、用地買収が必要であり用地取得の進捗が課題である。</li> </ul>			

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	OR元年度にて事業完了。R2年度以降は、調節池維持管理事業にて維持管理を行う。 【H30棚卸による見直し状況】 今年度を最終年度として進行管理を行っている。事業効果の検証については、事業完了後、どのように行っていくかを検討中である。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】

# 福知山市 令和元年度事務事業評価シート(3次公表)

(単位：千円)

事業属性	担当課	建設交通部 道路河川課						
	作成責任者	荒木 正人						
	事業名	弘法川等河川改修関連橋りょう整備事業						
	会計情報	款 土木費	項 道路橋りょう費	目 橋りょう維持費	会計 一般会計	事業コード 550402	決算付属資料	頁
	施策体系	施策コード 040103	施策名 市街地の浸水対策を推進する					
	開始年度	平成28年度						
	終了予定年度	平成30年度						
	関連計画等							
	根拠法令等							
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 国府補助事業 <input type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> 内部庶務的業務 <input type="checkbox"/> その他 ( )						

基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成26年8月豪雨による内水被害対策として、国・府・市3者での「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での指針に基づいて、必要な整備を行なっていく。整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、由良川流域住民はもとより、市民の安心・安全に寄与することができる。				
	対象者	市民、利用者、市道の橋りょう	対象者数	10,284	単位あたりコスト	0.0
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> 工事・修繕等 <input type="checkbox"/> その他 ( )				
	委託先・実施主体等					
	事業概要	京都府により、京都府管理河川である弘法川の河川改修が行なわれており、この改修にあわせて、弘法川に架かっている市道橋の改修を行ない、流れの阻害となる橋脚をなくすなど河川断面の阻害が少なくなるように架け替える。事業にかかる費用のうち、市道管理者として1/2を負担するものである。 ・対象：篠尾新町地内の新弘橋1橋(市道篠尾新町呉服線)				
主な経費と具体的内容 (N-1年度実績)	項目	具体的な内容			H30経費(見込値)	
関連事業						

区分	H28	H29	H30	R1	R2要求額	
配当予算	①当初	30,000	0	80,000		0
	②補正予算		0	3,091		
	③流充用額	30,000		0		
	④繰越額計	△ 60,000	60,000	△ 83,091	83,091	0
前年度繰越			0	83,091		
			△ 83,091			
財源内訳 (①④内訳)	一般財源	0	0	0	3,091	0
	国支出金	0	0	0		
	府支出金	0	0	0		
	地方債	0	60,000	0	80,000	
その他特財	0	0	0			
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
	特財名称		種類	実績金額	決算付属資料	頁
人件費	0.04/0	0.04 / 0	0.02 / 0	0.02 / 0		
⑤概算人件費	320	320	160	160		
⑥総事業費 (①+②+③+④+⑤)	320	60,320	160	83,251		
⑦執行額	0	0	0			
執行率 (⑦/(①+②+③+④)×100)		0.0%		0.0%		

業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事完了	件	0 / 1	0 / 1	0 / 1	/ 1	1
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	R1	最終目標
		工事完了	事業	0 / 1	0 / 1	0 / 1	/ 1	1
		単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0		
		単位あたりコスト		/	/	/	/	
単位あたりコスト		0.0	0.0	0.0				

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 (担当課による自己評価)	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・国・府・市3者による治水対策協議会で示された方針に基づいて、内水被害対策のひとつとして進めており、治水対策上、必要である。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・京都府管理河川であるため、市道橋を京都府施工で架け替えるものであり、工事費については河川管理者である府と、市道管理者である市とで1/2ずつ負担する。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・内水被害対策については、整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで市民の安心・安全に寄与することができ、事業として有効である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該事業は、平成26年8月豪雨による内水被害対策のひとつとして、国・府・市3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策協議会」での方針に基づき進められている。</li> <li>・整備目標を定め、計画的に事業を進めていくことで、市民の安心・安全に寄与することができる。</li> <li>・平成30年度は未実施。</li> </ul>	
	今後の課題及び方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合治水対策による京都府の弘法川、法川の河川改修にあわせて、市道橋の架けかえを実施させ、今後も道路管理者として負担も予想されることから予算の確保と、財源確保が重要となってくる。</li> </ul>		

		所見
庁内及び外部による評価 (棚卸し評価)	二次評価 (庁内評価) 【行革担当課記入】	
	三次評価 (外部評価) 【行革担当課記入】	

		方針区分	内容
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	○事業自体は完結したが、今後同様の案件がある場合は、有利な財源も含め検討・調整を行う。
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H31) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】